

歴代ソニックを大紹介

ここでは歴代ソニックをふりかえってみよう。最初のマシン、ソニックセイバーはTRFの土屋博士が開発した初のエアロマシだ。烈はそれを風をみかたにつけたコーナリングマシンに育て上げた。第2のマシン、バンガードソニックは烈が成長させたセイバーからヒントを得て、コーナリングマシンとしての空力を

を徹底追及している。第3のハリケーンソニックは、WGPへの参戦に向けて、烈が自分の手で作り上げた。いちだんと進化させたエアロボディとフロントウイングが特徴だ。そして第4のマシン、バスターソニックはますます激しくなるWGPを戦うため、烈のアイデアで誕生した。大径タイヤを初めて装備し、強力なフロントサスペンションを搭載している。

バンガードソニック

ITEM19407
1995年9月発売
スーパーシャシ



ソニックセイバー

ITEM19402
1994年9月発売



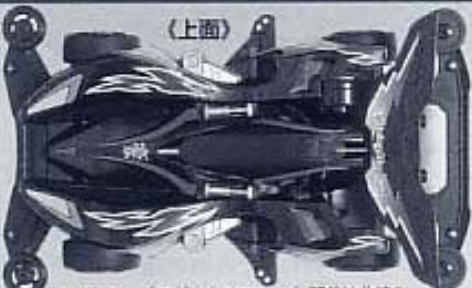
スーパー1シャシ

ハリケーンソニック

ITEM19415
1996年12月発売
スーパーTZシャシ



ソニック大集合!!

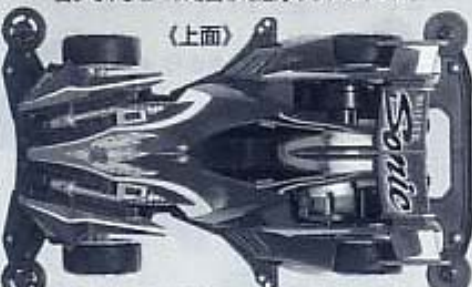


(上面)

バスターソニック

ITEM19423
1997年12月発売
スーパーTZシャシ

ライトニングマグナムのフロント部分は曲線を使ってポリウムを出した迫力あるデザインだ。



(上面)

BLITZER-SONIC

ブリッツァーソニックはフロント部分を細くしてシャープさを強調したデザインだ。



(側面)

ブリッツァーソニック

ITEM19614
2000年1月発売
VSシャシ

VS CHASSIS



●軽量、コンパクトで好評のVSシャシ

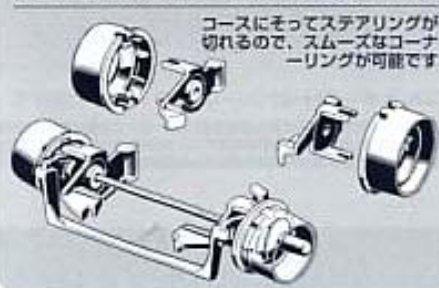


フロントフェンダーの内側に配置されたサスペンションやパイプ類など細かい造形もリアルに再現されているぞ。



リアウイングは3つに分かれた複合型だ。カーブやストレートなどあらゆる場面で大きなダウンフォースを発生させる。

ミニ四駆ステアリングシステムセット (VS/TZ/TZ-Xシャシ用) (新発売) 450円



コースによってステアリングが切れるので、スムーズなコーナリングが可能です。

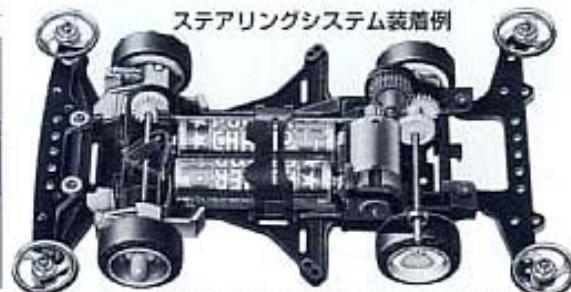
VSシャシでチューンアップも楽しい

ブリッツァーソニックのシャシはVSを採用。ホイールベースが短くトレッドがせまいので、カーブの多いテクニカルコースに最適だ。小径タイヤをセットして安定性が高いのも特長。さらにステアリングシステムをはじめとする数多いグレードアップパーツを組み合わせて、性能アップも思うままだ。烈のレースにける情熱が生み出したブリッツァーソニック。君もその気持ちを感じ取ってくれ。



星馬 烈

ステアリングシステム装着例



製品には大径用、小径用の2種のホイールと専用六角シャフトやグリスもセットされています。